

効果的な『見出し』で読み手を引きつけよう！ ～新聞記事の構成を理解した「読ませる」工夫を考える～

新聞記事の構成を理解し、読み手に訴える「見出し」の付け方について考えてみましょう

1 ワークショップのねらい

(1) 目的: 新聞記事の構成を理解し、読み手に訴える「見出し」の付け方について考える

(2) 指導のポイント

- 新聞記事が、普段書いている作文とは違う構成(「逆三角形の構成」)で書かれていることを知らせる
- 見出しは、記事に付ける題名(タイトル)であることを意識させる
- 同じ記事でも「見出し」の付け方で、読み手を一気に引きつけることができることを知らせる

2 子どもたちにつけたい力

- 書こうとすることの中心を明確にして書き表す力

※国語科学習指導要領とのかかわり

第3学年及び第4学年「B 書くこと」内容

ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

3 ワークショップの流れ

時間	主な発問と 参加者の主な活動	進行上のポイント	留意点……赤字 配布物……青字
2分	<p>本日のワークショップについて知る</p>  <p>[スライド1,2]</p>	<p>ワークショップの説明を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの目的 「新聞記事の構成を理解し、読み手に訴える「見出し」の付け方について考える」 ・活動の見通し ● 「新聞記事の構成について確認」→「新聞記事の例文の確認」→「個人で見出し案を考える」→「グループで検討」→「発表」→「まとめ」 	<p>学習の見通しを確認する。</p>
3分	<p>【1】誰もが読みたくなる「見出し」を考えてみましょう！</p> <p>1. 新聞記事の構成について確かめる</p>  <p>[スライド3]</p>	<p>見出し、リード、記事、写真の例を提示 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事が「逆三角形の構成」を意識して書かれていることを確認する 	<p>スライド3はクリックするごとに「見出し」→「リード文」→「記事」→「写真」の順番で切り替わります。</p>